



# 秋の大祭典！

## アルバカーキの空一面に舞うバルーンフェスタ。

▲写真①

スカイラインを突き破るカラフルな気球の光景により、10月はニューメキシコ州で最も美しい時期。空はより青く、日は穏やかで、朝はより鮮明になり、まるで風景が深いため息をついたかのように、砂漠の暖かい息吹のなか毎年恒例のアルバカーキ国際バルーンフェスタが航海します。気球祭の開催期間中は80万人以上の観光客が世界中から訪れる。開催都市のアルバカーキは年間を通して気球に最適な気流とされる風の条件をそろえている場所。わずか13組の参加だった1972年に始まったこのお祭りは、現在では700機を超える色とりどりの熱気球と操縦士が集結し、一斉にゆっくりと空に浮かんでいく。今年は50周年を迎える記念の年。10月1日～9日まで会場のBalloon Fiesta Parkで早朝から夜まで9日間行われる大イベントです。チケットは[公式ホームページ](#)から。

地平線が広がる壮大な原野を走り抜けていくニューメキシコの旅。ビッグなアメリカを肌で感じられるこの広大な土地は、「魅惑の地」の愛称をもつアメリカでありながら、アメリカのどこにも存在しない異国情緒あふれる魅力的なところ。北はコロラド州、東はオクラホマ州、西はアリゾナ州、南はテキサス州およびメキシコとの国境に囲まれた四角い形をしたニューメキシコ州。面積は全米で5番目の大きさを誇る。アメリカの開拓者ではなく、先住民インディアンとメキシコから進んできたスペイン人により築かれた文化が色濃く残る。16世紀半ばに黄金を求めてスペイン人が探検、入植をはじめ、まさに「新しいメキシコ」が誕生した。州都であるサンタフェは、1776年のアメリカ独立宣言より以前の1607年にスペイン人により建設された古くからあった歴史ある街。1912年アメリカ合衆国に47番目の州として正式に加盟した。

通称「アメリカの宝石」と呼ばれるサンタフェはアートの発信地。世界中から多くの芸術家に移り住み、街には美術館や博物館など、個性豊かな芸術に触れられるスポットが散在。「キャニオンロード」には数多くのギャラリーが連なる。アメリカ最古の教会San Miguel Missionとそのすぐ裏手にあるアメリカ最古の家(The Oldest House in America)は見逃せない。

サンタフェから車で北西70キロ。コロラド州中南部に源を発し、メキシコ湾に流れるリオグランデ川。その川沿いにバンデリア国立公園がある。13世紀のコロンブス以前のネイティブアメリカンの遺跡や古代プエブロ族の村を見学できるハイキング・トレイルを歩いていく。岩の壁に複数の穴があり、プエブロ族が暮らしていたその穴の洞窟の入り口までかけられた梯子を登り、洞窟内の様子を見ることができる。トレイルの途中、数多くの部屋や集会場があったことを確認できるTyuonyi Villageと呼ばれる遺跡を通って行った(写真②)。Main Loop Trailを歩き終わると、Alcove Houseへ行くトレイルが続いていた。Alcove Houseは43メートルの高さのある岩の上にあり、Main Loopで登った短い梯子ではなく、さらに長い梯子を3回に分けて登っていった(写真③)。

ヒューストンからニューメキシコ州の大都市アルバカーキまで、飛行機で片道約2時間の飛行時間。ここでレンタカーを借りて向かったサンディア・ピーク・エアリアル・トラムウェイ(Sandia Peak Aerial Tramway)。3000メートル登るアルバカーキのゴンドラ。ゴツゴツした岩と深い峡谷のパノラマビューを一望できる。その頂上にある海拔10,300フィートの「Ten3」展望台レストランは、お馴染みの「Tex-Mex」ならぬ「New-Mex」ニューメキシコ風

にアレンジされたタコスやブリートをもてなす人気のお食事スポット。

アルバカーキのソーミルマーケット(Sawmill Market)は、ニューメキシコ州の市場で他に類を見ないグレードの高い料理を提供している。フローラ&ワインバーに立ち寄って、地元産の食材で作られたメキシコ料理や鮮やかな色のカクテルを楽しめる。West Cocktail & Wine Barを訪れて、世界中のワインをフィーチャーした常に変化するワインメニューを楽しんだり、豚肉やチーズボードを好きなもので組み合わせるカスタムメイドしてくれる。

アルバカーキから車で南へ3時間半、「白い砂漠」として有名なホワイトサンズ国立公園に到着。メキシコ国境にも近いため途中検問を通過。米国ビザを証明するパスポートなどが必要になる。通常24時間アクセスできる国立公園。ホワイトサンズに限っては、ミサイル射撃場や飛行機の開発、試験場としても知られているWhite Sands Missile Rangeがあるため、開園時間に影響を与える。まず向かったビジターセンターはニューメキシコ州の所々に散在する日干し煉瓦で作られたアドビと呼ばれる赤茶色の建物(写真④)。ピノン、ジュニパー、モミバルサム、メスキートなど、西洋の香りに特化した天然木の香を楽しめる「The Incense of the West」はここならではの土産品。公園内に入るとDunes Driveの往復25キロのシーニックロードが1本走っているだけ。道沿いにハイキングトレイルの案内があり、順番に歩いていくと、あっという間に半日すぎた。トレイルを歩く以外にも砂の上を滑るそりは公園内の人気アクティビティ(写真⑤)。ビジターセンターでそりをレンタル、そりにつけるwaxを購入できる。夕暮れ時を迎えた443平方キロメートル広がる純白の石膏(gypsum)の砂丘。ゆっくりとオレンジがかかったピンク色に染まっていくホワイトサンズの絶景は心に残る幻想的な場所でした。



▲写真②



▲写真③



▲写真④



▲写真⑤

(近鉄インターナショナル 根本真樹子)

